

授 業	【 G 】	行政法（行政救済法）	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	行政法（行政救済法）	選 択		【 H 】 3		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	行政救済法の意義と分類						
	予習： 行政法の一分野としての行政救済法の位置付けを考える(100分)		復習： 行政法概論、行政法総論の授業内容の見直し(80分)				
2	行政上の不服申立て(1)(行政上の不服申立制度の意義)						
	予習： 参考書(1)第13講第1節等を読む(100分)		復習： 行政上の不服申立ての特色、制度の概要を確認する(80分)				
3	行政上の不服申立て(2)(行政不服審査法の定める不服申立制度)						
	予習： 参考書(1)第13講第2節等を読む(100分)		復習： 不服申立ての類型、要件、審理手続き等を確認する(80分)				
4	行政訴訟(1)(行政訴訟制度の基本的特徴)						
	予習： 参考書(1)第11講第1節等を読む(100分)		復習： 司法国家における行政訴訟の意義を確認する(80分)				
5	行政訴訟(2)(行政事件訴訟法上の訴訟類型)						
	予習： 参考書(1)第11講第2節等を読む(100分)		復習： 各種の訴訟類型の全体を確認する(80分)				
6	行政訴訟(3)(取消訴訟①)						
	予習： 参考書(1)第11講第2節第1項等を読む(100分)		復習： 処分および裁決に対する取消訴訟の意義を確認する(80分)				
7	行政訴訟(4)(取消訴訟②－訴訟要件)						
	予習： 参考書(1)第12講第3節等を読む(100分)		復習： 取消訴訟を中心に訴訟要件を確認する(80分)				
8	行政訴訟(5)(無効等確認訴訟・不作為の違法確認訴訟)						
	予習： 参考書(1)第11講第2節第1項等を読む(100分)		復習： 2種の確認訴訟の基本的特徴を確認する(80分)				
9	行政訴訟(6)(義務付け訴訟・差止訴訟)						
	予習： 参考書(1)第11講第2節第1項等を読む(100分)		復習： 義務付け訴訟・差止訴訟の基本的特徴を確認する(80分)				
10	行政訴訟(7)(当事者訴訟)						
	予習： 参考書(1)第11講第2節第2項等を読む(100分)		復習： 形式的・実質的当事者訴訟の基本的特徴を確認する(80分)				
11	行政訴訟(8)(民衆訴訟)						
	予習： 参考書(1)第11講第2節第3項等を読む(100分)		復習： 客観訴訟の意義を確認する(80分)				
12	行政訴訟(9)(機関訴訟)						
	予習： 参考書(1)第11講第2節第4項等を読む(100分)		復習： 行政機関相互間の紛争の解決方法を確認する(80分)				
13	国家賠償法(1)(公権力の行使による損害の賠償)						
	予習： 参考書(1)第14講第2節等を読む(100分)		復習： 国家賠償制度の意義を確認する(80分)				
14	国家賠償法(2)(営造物の瑕疵による損害の賠償)						
	予習： 参考書(1)第15講第3節等を読む(100分)		復習： 国家賠償法第2条の意義を確認する(80分)				
15	損失補償(基本的な考え方・要件)						
	予習： 参考書(1)第16講第1節・第2節等を読む(100分)		復習： 損失補償制度の意義・沿革・要件を確認する(80分)				
その他	他の履修者の提出物の模倣, 他の者による身代わり回答等, 履修態度が良くない者には厳正に対処する。						